

注3

大学番号：私113

[平成29年度設置]

計画の区分：学部の設置

注1

届出

東邦大学 健康科学部 看護学科

注2

【届出】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人東邦大学
平成30年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名 学事統括部

職名・氏名 カカリチョウ アキモト ユリエ
係長 秋元 ゆり江

電話番号 03-5763-6581

（夜間） 03-3762-4151

F A X 03-5863-6580

e-mail g-gakuji@ext.toho-u.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には設置時の旧名称を記載し、その下欄に

()書きにて、現在の名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(◇◇学部(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- ・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- ・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- ・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- ・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- ・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 大学番号の欄については、平成30年3月26日付事務連絡「履行状況報告書の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目次

健康科学部

<看護学科>	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	15
4. AC対象学部等を含む大学等の状況	16
5. 教員組織の状況	18
6. 留意事項等に対する履行状況等	33
7. その他全般的事項	34

[参考資料] 東邦大学健康科学部FD委員会規程

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人 東邦大学

(2) 大学名

東邦大学

(3) 大学の位置

〒274-8510

千葉県船橋市三山二丁目2番1号

(〒143-8540 東京都大田区大森西五丁目21番16号)

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(スミヤマ ヨシノブ) 炭山 嘉伸 (平成21年9月)		
学長	(ヤマザキ ジュンイチ) 山崎 純一 (平成24年7月)		
学部長	(アサノ ミチエ) 浅野 美知恵 (平成29年4月)		
学科長等			

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 平成29年度に報告済の内容 → (29)

平成30年度に報告する内容 → (30)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
 ・ なお, 課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は, 法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
 ・ 様式は, 平成27年度開設の4年制の学科の場合(平成30年度までの4年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
健康科学部 看護学科 学士(看護学)	保健衛生学関係 (看護学関係)	4年	60人	- 年次人	240人	

- (注) ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前的人数, 変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
 ・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。
 ・ 「学位又は学科の分野」には, 「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

対象年度 区分	平成29年度		平成30年度		平成31年度		平成32年度		平均入学定員 超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	60 (-) [0]	人	60 (-) [0]	人	() []	人	() []	人	1.19 倍	
志願者数	635 (-) [0]	() []	585 (-) [0]	() []	() []	() []	() []	() []		
受験者数	627 (-) [0]	() []	579 (-) [0]	() []	() []	() []	() []	() []		
合格者数	144 (-) [0]	() []	149 (-) [0]	() []	() []	() []	() []	() []		
B 入学者数	78 (-) [0]	() []	65 (-) [0]	() []	() []	() []	() []	() []		
入学定員超過率 B/A	1.3		1.08							

- (注) ・ 数字は, 平成30年5月1日現在の数字を記入してください。
 ・ ()内には, 編入学の状況について外数で記入してください。なお, 編入学を複数年次で行っている場合には, (())書きとするなどし, その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ []内には, 留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・ 転入学生は記入しないでください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「-」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については, 各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出してください。なお, 計算の際は小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで記入してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	平成29年度		平成30年度		平成31年度		平成32年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	78 [-] (-)	- [-] (-)	67 [-] (2)	- [-] (-)					
2年次	/		76 [-] (-)	- [-] (-)					
3年次			/						
4年次	/								
計			78 [-] (-)		143 [-] (2)				

- (注) ・ 数字は、平成30年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ []内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

(5) - ④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由
			入学した年度	退学者数	退学者数のうち留学生数	
平成29年度	78人	0人	平成29年度	0人	0人	
平成30年度	143人	0人	平成29年度	0人	0人	
			平成30年度	0人	人	
平成31年度	人	人	平成29年度	人	人	
			平成30年度	人	人	
			平成31年度	人	人	
平成32年度	人	人	平成29年度	人	人	
			平成30年度	人	人	
			平成31年度	人	人	
			平成32年度	人	人	
合計	221人	0人				

(注)・数字は、平成30年5月1日現在の数字を記入してください。

- 各年度の在学者数については、該当年度に在学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- 在学者数や退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) - ⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成29年度】

$$\frac{\text{平成29年度の退学者数(a)}}{\text{平成29年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{78} = \boxed{0} \%$$

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{143} = \boxed{0} \%$$

【平成31年度】

$$\frac{\text{平成31年度の退学者数(a)}}{\text{平成31年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{} \%$$

【平成32年度】

$$\frac{\text{平成32年度の退学者数(a)}}{\text{平成32年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<健康科学部 看護学科>

(1) ① 授業科目表

【認可時又は届出時】

【平成30年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
教養教育科目	自然科学	自然科学概論	1前	1								1
		情報科学概論	1前	1								1
		化学	1前	1								1
		生物学	1前	1								1
		看護のための物理学	2前	1								1
	語学	実用英語ⅠA	1前		1							1
		実用英語ⅠB	1後		1							1
		実用英語Ⅱ	2前	1								2
		医療英語ⅠA	1後		1							1
		医療英語ⅠB	1前		1							1
		実用英語Ⅲ	2前		1							1
		実用英語Ⅳ	4前		1							1
		医療英語Ⅱ	4前		1			3				
		実用医療英語	1後		1							1
		ドイツ語入門	1前		1							1
	フランス語入門	1前		1							1	
	中国語入門	1前		1							1	
	健康科学	健康科学概論	1前	1			1					1
		コミュニケーション論	1前	1								2
		プレゼンテーション論	1前	1								1
スポーツ健康科学		1前		1							1	
スポーツ健康科学実技		1前		1							3	
人文科学	心理学	1前	1								1	
	教育学	1前	1								1	
	組織論	1前		1							1	
	経済学	1前		1							1	
	社会学	1前		1							1	
	民法 (日本国憲法を含む)	3前		2							1	
	文学	1前		1							1	
	人類学	1前		1							1	
	哲学	1前		1							1	
	倫理学	1前		1							1	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
教養教育科目	自然科学	自然科学概論	1前	1								1
		情報科学概論	1前	1								2
		化学	1前	1								1
		生物学	1前	1								1
		看護のための物理学	2前	1								1
	語学	実用英語ⅠA	1前		1							1
		実用英語ⅠB	1後		1							2
		実用英語Ⅱ	2前	1								3
		医療英語ⅠA	1後		1							1
		医療英語ⅠB	1前		1							2
		実用英語Ⅲ	2前		1							1
		実用英語Ⅳ	4前		1							1
		医療英語Ⅱ	4前		1			3				
		実用医療英語	2前		1							1
		ドイツ語入門	1前		1							1
	フランス語入門	1前		1							1	
	中国語入門	1前		1							1	
	健康科学	健康科学概論	1前	1			1					1
		コミュニケーション論	1前	1								2
		プレゼンテーション論	1前	1								1
スポーツ健康科学		1前		1							1	
スポーツ健康科学実技		1前		1							3	
人文科学	心理学	1前	1								1	
	教育学	1前	1								1	
	組織論	1前		1							1	
	経済学	1前		1							1	
	社会学	1前		1							1	
	民法 (日本国憲法を含む)	3前		2							1	
	文学	1前		1							1	
	人類学	1前		1							1	
	哲学	1前		1							1	
	倫理学	1前		1							1	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門基礎教育科目	人間と健康	人体の構造と機能Ⅰ	1前	2								1
		人体の構造と機能Ⅱ	1後	2								1
		人体の構造と機能Ⅲ	2前	2								1
		生化学	1後	1								1
		臨床栄養学	2前	1								2
		微生物学	1後	1								2
		疾病と治療Ⅰ	1後	2								3
		疾病と治療Ⅱ	2前	2								6
		疾病と治療Ⅲ	2前	2								6
		疾病と治療Ⅳ	3前	2								4
		疾病と治療Ⅴ	3前	1			1					5
		薬理学	1後	2								3
		薬剤学	1後	1								2
	リハビリテーション論	2前	1								1	
	臨床遺伝学	2前		1							1	
	臨床心理学	2前		1							1	
	社会と健康	保健医療福祉行政論	3前	2								1
		社会保障制度	3前	2								1
		研究方法の基礎	3前	1			1					3
保健統計と情報処理		3前	1					1				
疫学と公衆衛生		3前	2								1	
健康生活支援論		4前		1							1	
政策形成過程論	3前		1							1		
専門教育科目	トランスレーショナル看護学 臨床看護学	看護学概論	1前	1			2					
		臨床看護学概論	1後	1			1					
		看護倫理学	4前	1			1					
		看護理論	1後	1			3	1				
		トランスレーショナルへの挑戦	1前	1			1	2	1			
		看護展開論	2前	1			1	3	2	2	2	
		機能障害のある患者の看護	2前	2			1	1				
		周手術期看護・急性重症患者看護	3前	2			1		1	1		
		がん看護・緩和ケア	3前	1			1				1	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門基礎教育科目	人間と健康	人体の構造と機能Ⅰ	1前	2								1
		人体の構造と機能Ⅱ	1後	2								1
		人体の構造と機能Ⅲ	2前	2								2
		生化学	1後	1								1
		臨床栄養学	2前	1								2
		微生物学	1後	1								4
		疾病と治療Ⅰ	1後	2								3
		疾病と治療Ⅱ	2前	2								6
		疾病と治療Ⅲ	2前	2								6
		疾病と治療Ⅳ	3前	2								4
		疾病と治療Ⅴ	3前	1				1				5
		薬理学	1後	2								2
		薬剤学	1後	1								2
	リハビリテーション論	2前	1								1	
	臨床遺伝学	2前		1							1	
	臨床心理学	2前		1							2	
	社会と健康	保健医療福祉行政論	3前	2								1
		社会保障制度	3前	2								1
		研究方法の基礎	3前	1					1			3
保健統計と情報処理		3前	1						1			
疫学と公衆衛生		3前	2								1	
健康生活支援論		4前		1							1	
政策形成過程論	3前		1							1		
専門教育科目	トランスレーショナル看護学 臨床看護学	看護学概論	1前	1			2					
		臨床看護学概論	1後	1			1					
		看護倫理学	4前	1			1					
		看護理論	1後	1			3	1				
		トランスレーショナルへの挑戦	1前	1			1	2	1			
		看護展開論	2前	1			1	3	2	2	2	
		機能障害のある患者の看護	2前	2			1	1				
		周手術期看護・急性重症患者看護	3前	2			1		1	1		
		がん看護・緩和ケア	3前	1			1				1	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任			
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手				
専門教育科目	トランスレーショナル看護領域	感染看護	2後	1			1	1						
		看護の基本技術Ⅰ	1後	1			1	1	1	1				
		看護の基本技術Ⅱ	2前	2				2	2	2	2			
		看護の基本技術Ⅲ	2後	2				3	1	2	1			
	看護の基本技術Ⅳ	3前	1			1		1	3	3				
	臨床実習	看護入門実習Ⅱ	1後	1			2	2	1	1				
		看護実践の基礎	2前	2			3	3	2	2	2			
		臨床実践Ⅰ	2後	2			2	3	2	2	1			
		臨床実践Ⅱ	3通	2			1	1		3	1			
	臨床実践Ⅲ	3通	2			1		1	1					
	ファミリーヘルス看護領域	基盤科目Ⅰ	発達看護論	2前	1			3	1					
			ファミリーヘルス看護論	3前	1			3		1	2	1		
			援助的人間関係論	4前	1			3						
		小児看護学	小児看護学概論	2前	1			1						
			小児看護学方法論	2後	1			1			1			
			看護の基本技術Ⅴ	3前	1			1			1	1		
母性看護学		母性看護学概論	2前	1			1							
		母性看護学方法論	3前	1			1		1					
		看護の基本技術Ⅵ	3前	1			1		1	1				
精神看護学		精神看護学概論	3前	1			1							
		精神看護学方法論	3前	2			1						1	
臨床実習		小児看護学実習	3通	2			1			1	1			
	母性看護学実習	3通	2			1		1	1					
	精神看護学実習	3通	2			1						1		
コミュニティヘルス看護領域	基盤科目Ⅱ	コミュニティヘルス看護概論	1後	1			4		1					
		コミュニティヘルス看護展開論	4前	1			3	1	2	3	2			
		国際保健論 (災害看護論を含む)	4後	1										
		ターミナルケア	4後	1			3	1	2					
	老年看護学	老年看護学概論	1前	1			1							
		看護の基本技術Ⅶ	2前	2			1	1	1	1	1			
		在宅看護概論	2後	1			1		1					
在宅看護学	看護の基本技術Ⅷ	3前	1			1	1	1	1	3				

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任			
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手				
専門教育科目	トランスレーショナル看護領域	感染看護	2後	1			1	1						
		看護の基本技術Ⅰ	1後	1			1	1	1	1				
		看護の基本技術Ⅱ	2前	2				2	2	2	3			
		看護の基本技術Ⅲ	2後	2				3	1	2	1			
	看護の基本技術Ⅳ	3前	1			1		1	3	3				
	臨床実習	看護入門実習Ⅱ	1後	1			2	2	1	1				
		看護実践の基礎	2前	2			3	3	2	2	3			
		臨床実践Ⅰ	2後	2			2	3	2	2	3			
		臨床実践Ⅱ	3通	2			1	1		3	1			
	臨床実践Ⅲ	3通	2			1		1	1					
	ファミリーヘルス看護領域	基盤科目Ⅰ	発達看護論	2前	1			3	1					
			ファミリーヘルス看護論	3前	1			3		1	2	1		
			援助的人間関係論	4前	1			3						
		小児看護学	小児看護学概論	2前	1			1						
			小児看護学方法論	2後	1			1						1
			看護の基本技術Ⅴ	3前	1			1			1	1		
母性看護学		母性看護学概論	2前	1			1							
		母性看護学方法論	3前	1			1		1					
		看護の基本技術Ⅵ	3前	1			1		1	1				
精神看護学		精神看護学概論	3前	1			1							
		精神看護学方法論	3前	2			1						1	
臨床実習		小児看護学実習	3通	2			1			1	1			
	母性看護学実習	3通	2			1		1	1					
	精神看護学実習	3通	2			1						1		
コミュニティヘルス看護領域	基盤科目Ⅱ	コミュニティヘルス看護概論	1後	1			4		1					
		コミュニティヘルス看護展開論	4前	1			3	1	2	3	2			
		国際保健論 (災害看護論を含む)	4後	1										
		ターミナルケア	4後	1			3	1	2					
	老年看護学	老年看護学概論	1前	1			1							
		看護の基本技術Ⅶ	2前	2			1	1	1	1	2			
		在宅看護概論	2後	1			1		1					
在宅看護学	看護の基本技術Ⅷ	3前	1			1	1	1	1	3				

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
専門教育科目	公衆衛生看護学 コミュニティヘルス看護領域	公衆衛生看護学概論	2後	1			1						
		看護の基本技術Ⅸ	2後	1				2		1			
	臨床実習	老年看護学実習Ⅰ	2後	2				1		1	1		
		老年看護学実習Ⅱ	2後	1			1			1	1		
		老年看護学実習Ⅲ	2後	1			1		1		1		
		看護入門実習Ⅰ	1後	1			1		1	1			
		在宅看護実習	3後	1			1		1	1	1		
		コミュニティヘルス看護実習	3後	1			1		1		1		
		ブレ・プロフェッショナル看護領域	看護研究入門	3前	1			4		5	4		
	看護研究		4通	2			8	4	5	7			
	看護の役割と実践の探究		4前	1			1	1					
	臨床実践技術の探究		4後	1			1	3	3	5	3		
	看護安全論		4後		1							1	
	看護管理論		4前		1							2	
	看護哲学		4前		1		4	1					
	チーム活動論		4前		1		3	2	2	5			
	チーム医療演習	4前		1							1		
	実習	看護実践の探究	4前	2			8	4	5	7	4	1	
	保健師専門科目	公衆衛生看護学	公衆衛生看護学の技術	3前		1		1		1			
公衆衛生看護学活動論			3前		2		1		1				
学校保健・産業保健			3前		1				1			2	
公衆衛生看護管理論			4後		1		1		1				
実習		公衆衛生看護学実習Ⅰ	3後		2		1		1		1		
公衆衛生看護学実習Ⅱ	3後		2		1		1		1				
自由科目	生物学入門	1前			1							1	
	化学入門	1前			1							1	
	文章表現入門	1前			1		1					1	
	千葉県の地域医療	1前			1	2							
	倫理ことはじめ	1前			1	1	1					1	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
専門教育科目	公衆衛生看護学 コミュニティヘルス看護領域	公衆衛生看護学概論	2後	1			1						
		看護の基本技術Ⅸ	2後	1				2		1			
	臨床実習	老年看護学実習Ⅰ	2後	2				1		1	2		
		老年看護学実習Ⅱ	2後	1			1			1	1		
		老年看護学実習Ⅲ	2後	1			1		1		1		
		看護入門実習Ⅰ	1後	1			1		1	1			
		在宅看護実習	3後	1			1		1	1	1		
		コミュニティヘルス看護実習	3後	1			1		1		1		
		ブレ・プロフェッショナル看護領域	看護研究入門	3前	1			4		5	4		
	看護研究		4通	2			8	4	5	7			
	看護の役割と実践の探究		4前	1			1	1					
	臨床実践技術の探究		4後	1			1	3	3	5	3		
	看護安全論		4後		1							1	
	看護管理論		4前		1							2	
	看護哲学		4前		1		4	1					
	チーム活動論		4前		1		3	2	2	5			
	チーム医療演習	4前		1							1		
	実習	看護実践の探究	4前	2			8	4	5	7	4	1	
	保健師専門科目	公衆衛生看護学	公衆衛生看護学の技術	3前		1		1		1			
公衆衛生看護学活動論			3前		2		1		1				
学校保健・産業保健			3前		1				1			2	
公衆衛生看護管理論			4後		1		1		1				
実習		公衆衛生看護学実習Ⅰ	3後		2		1		1		1		
公衆衛生看護学実習Ⅱ	3後		2		1		1		1				
自由科目	生物学入門	1前			1							1	
	化学入門	1前			1							1	
	文章表現入門	1前			1		1					1	
	千葉県の地域医療	1前			1	2							
	倫理ことはじめ	1前			1	1	1					1	

【平成29年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置				兼任・兼担		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教		助手	
教養教育科目	自然科学	自然科学概論	1前	1							1	
	情報科学概論	1前	1								1	
	化学	1前	1								1	
	生物学	1前	1								1	
	看護のための物理学	2前	1								1	
	語学	実用英語ⅠA	1前		1							2
		実用英語ⅠB	1後		1							2
		実用英語Ⅱ	2前	1								2
		医療英語ⅠA	1後		1							2
		医療英語ⅠB	1前		1							2
		実用英語Ⅲ	2前		1							1
		実用英語Ⅳ	4前		1							1
		医療英語Ⅱ	4前		1		3					
		実用医療英語	2前		1							1
		ドイツ語入門	1前		1							1
		フランス語入門	1前		1							1
	中国語入門	1前		1							1	
	健康科学	健康科学概論	1前	1			1					1
		コミュニケーション論	1前	1								2
		プレゼンテーション論	1前	1								1
		スポーツ健康科学	1前		1							1
		スポーツ健康科学実技	1前		1							4
	人文科学	心理学	1前	1								1
		教育学	1前	1								1
		組織論	1前		1							1
		経済学	1前		1							1
		社会学	1前		1							1
		法社会学 (日本国憲法を含む)	3前		2							1
		文学	1前		1							1
		人類学	1前		1							1
哲学		1前		1							1	
倫理学		1前		1							1	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置				兼任・兼任		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教		助手	
専門基礎教育科目	人体の構造と機能Ⅰ	1前	2								2	
	人体の構造と機能Ⅱ	1後	2								2	
	人体の構造と機能Ⅲ	2前	2								1	
	生化学	1後	1								1	
	臨床栄養学	2前	1								2	
	微生物学	1後	1								6	
	疾病と治療Ⅰ	1後	2								3	
	疾病と治療Ⅱ	2前	2								6	
	疾病と治療Ⅲ	2前	2								6	
	疾病と治療Ⅳ	3前	2								4	
	疾病と治療Ⅴ	3前	1		1						5	
	薬理学	1後	2								2	
	薬剤学	1後	1								2	
	リハビリテーション論	2前	1								1	
	臨床遺伝学	2前		1							1	
	臨床心理学	2前		1							1	
	社会と健康	保健医療福祉行政論	3前	2								1
		社会保障制度	3前	2								1
		研究方法の基礎	3前	1			1					3
保健統計と情報処理		3前	1					1				
疫学と公衆衛生		3前	2								1	
健康生活支援論		4前		1							1	
政策形成過程論		3前		1							1	
専門教育科目 トランスレーショナル看護領域	看護学概論	1前	1			2						
	臨床看護学概論	1後	1			1						
	看護倫理学	4前	1			1						
	看護理論	1後	1			3	1					
	トランスレーショナルへの挑戦	1前	1			1	2	1				
	看護展開論	2前	1			1	3	2	2	2		
	機能障害のある患者の看護	2前	2			1	1					
	周手術期看護・急性重症患者看護	3前	2			1		1	1			
	がん看護・緩和ケア	3前	1			1				1		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置				兼任・兼担			
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教		助手		
専門教育科目	トランスレーショナル看護学 臨床看護学	感染看護	2後	1			1	1				1	
		看護の基本技術Ⅰ	1後	1			1	1	1				
		看護の基本技術Ⅱ	2前	2				2	2	2	2		
		看護の基本技術Ⅲ	2後	2				3	1	2	1		
		看護の基本技術Ⅳ	3前	1			1		1	3	3		
	臨床実習	看護入門実習Ⅱ	1後	1			2	2	1	1		4	
		看護実践の基礎	2前	2			3	3	2	2	2		
		臨床実践Ⅰ	2後	2			2	3	2	2	1		
		臨床実践Ⅱ	3通	2			1	1		3	1		
		臨床実践Ⅲ	3通	2			1		1	1			
	ファミリーヘルス看護学 基礎科目Ⅰ	発達看護論	2前	1			3	1					
		ファミリーヘルス看護論	3前	1			3		1	2	1		
		援助的人間関係論	4前	1			3						
		小児看護学	小児看護学概論	2前	1			1					
			小児看護学方法論	2後	1			1			1		
			看護の基本技術Ⅴ	3前	1			1			1		1
		母性看護学	母性看護学概論	2前	1			1					
			母性看護学方法論	3前	1			1		1			
			看護の基本技術Ⅵ	3前	1			1		1	1		
		精神看護学	精神看護学概論	3前	1			1					
	精神看護学方法論		3前	2			1				1		
	臨床実習		小児看護学実習	3通	2			1			1	1	
		母性看護学実習	3通	2			1		1	1			
		精神看護学実習	3通	2			1				1		
	コミュニティヘルス看護学 基礎科目Ⅱ	コミュニティヘルス看護概論	1後	1			4		1			2	
		コミュニティヘルス看護展開論	4前	1			3	1	2	3	2		
国際保健論 (災害看護論を含む)		4後	1										
ターミナルケア		4後	1			3	1	2					
老年看護学		老年看護学概論	1前	1			1						
		看護の基本技術Ⅶ	2前	2			1	1	1	1	1		
在宅看護学		在宅看護概論	2後	1			1		1				
		看護の基本技術Ⅷ	3前	1			1	1	1	1	3		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置				兼任・兼任		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教		助手	
専門教育科目	公衆衛生看護学 コミュニティヘルス看護領域	公衆衛生看護学概論	2後	1			1					
		看護の基本技術Ⅹ	2後	1			1		2		1	
	臨床実習	老年看護学実習Ⅰ	2後	2				1			1	1
		老年看護学実習Ⅱ	2後	1			1				1	1
		老年看護学実習Ⅲ	2後	1			1		1			1
		看護入門実習Ⅰ	1後	1			1		1	1		3
		在宅看護実習	3後	1			1		1	1		1
		コミュニティヘルス看護実習	3後	1			1		1			1
		ブレ・プロフェッショナル看護領域	看護研究入門	3前	1			4		5	4	
	看護研究		4通	2			8	4	5	7		
	看護の役割と実践の探究		4前	1			1	1				
	臨床実践技術の探究		4後	1			1	3	3	5	3	
	看護安全論		4後		1							1
	看護管理論		4前		1							2
	看護哲学		4前		1		4	1				
	チーム活動論		4前		1		3	2	2	5		
	チーム医療演習		4前		1							1
	実習	看護実践の探究	4前	2			8	4	5	7	4	1
	保健師専門科目	公衆衛生看護学	公衆衛生看護学の技術	3前		1		1		1		1
			公衆衛生看護学活動論	3前		2		1		1		
学校保健・産業保健			3前		1							2
公衆衛生看護管理論			4後		1		1		1			
実習		公衆衛生看護学実習Ⅰ	3後		2		1		1		1	
公衆衛生看護学実習Ⅱ	3後		2		1		1			1		
自由科目	生物学入門	1前			1						1	
	化学入門	1前			1						1	
	文章表現入門	1前			1		1				1	
	千葉県の地域医療	1前			1	2						
	倫理ことはじめ	1前			1	1	1				1	

- (注) ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。
- その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字としてください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。
- ・ 1ページ目には認可時又は届出時と平成30年度の表を記入してください。
- ・ 不要な年度(平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度)の表は適宜削除し、詰めてください。(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【平成29年度】

- ・申請時のご記入により、「実用医療英語」の配当年次を「1後」から「2前」に変更。
- ・入学定員超過により、「実用英語 I A」「実用英語 I B」「医療英語 I A」「医療英語 I B」「スポーツ健康科学実技」「看護の基本技術 I」「看護入門実習 II」「看護入門実習 I」の兼任講師または兼担講師を各1名増員。
- ・担当予定者勤務地変更により、「人体の構造と機能 I」「人体の構造と機能 II」の科目に兼任講師を1名増員。
- ・実習の円滑・安全な実施のため、「微生物学」の兼任講師を4名増員。
- ・「薬理学」においては、兼担講師の退職により1名減員。

【平成30年度】

- ・入学定員超過となっていた平成29年度入学者が2年次に進級したため、平成29年度に兼任講師・兼担講師等で増員した1年次開講科目のうち、以下の科目について担当者の減員を行った。
「実用英語 I A」「医療英語 I A」「スポーツ健康科学実技」「微生物学」「看護の基本技術 I」「看護入門実習 II」「看護入門実習 I」
- ・2年次開講科目は履修学生が増員することから、「実用英語 II」について兼任講師の増員を行った。
- ・演習および実習科目について、一部の助手の採用を前倒しし、「看護の基本技術 II」「看護実践の基礎」「臨床実践 I」「看護の基本技術 VII」「老年看護学実習 I」の5科目の担当者として追加した。
- ・本年度より「非常勤助手」の職階を設定し、「看護の基本技術 II」「看護の基本技術 III」「看護実践の基礎」「臨床実践 I」の担当者として追加した。
- ・科目内容の見直しにより、「情報科学概論」「人体の構造と機能 I～III」および「臨床心理学」の担当教員数を変更した。

【平成31年度】

【平成32年度】

- (注) ・ 変更内容（配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など）を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
- ・ 不要な年度（平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度）の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計 (A)	必修	選択	自由	計	
84 科目	36 科目	5 科目	125 科目	84 科目 [0]	36 科目 [0]	5 科目 [0]	125 科目 [0]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：△1）

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{125} = \boxed{}\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考					
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	○校舎敷地 (借用) 須佐知行 1014.87㎡ S47.31~ H44.02.末 誤記入のため。(29)					
	校舎敷地	179,239.24㎡ 177,927.94㎡	0㎡	0㎡	179,239.24㎡ 177,927.94㎡						
	運動場用地	55,511.07㎡	0㎡	0㎡	55,511.07㎡						
	小 計	234,750.31㎡ 233,439.01㎡	0㎡	0㎡	234,750.31㎡ 233,439.01㎡						
	そ の 他	26,578.60㎡ 27,541.95㎡	0㎡	0㎡	26,578.60㎡ 27,541.95㎡						
	合 計	261,328.91㎡ 260,980.86㎡	0㎡	0㎡	261,328.91㎡ 260,980.86㎡						
(2) 校 舎	専 用	102,776.81㎡ 129,278.34㎡ (102,776.81㎡) (129,278.34㎡)	0㎡	0㎡	102,776.81㎡ 129,278.34㎡ (102,776.81㎡) (129,278.34㎡)	誤記入のため。(29)					
	共 用										
(3) 教 室 等	講義室	81室	演習室	36室	実験実習室	63室	情報処理学習施設	5室 6室 (補助職員 人)	語学学習施設	0室 (補助職員 人)	大学全体 が「イセター」の大幅な改修のため(30)
	新設学部等の名称		健康科学部 看護学科		室 数		23 室				
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の 名称	図 書 〔うち外国書〕	学術雑誌 〔うち外国書〕	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料	機 械 ・ 器 具	標 本	電子ジャーナルは、大学全体での 共有分。図書、学術雑誌、視聴覚資 料については、薬学部・理学部で の共有分。大学全体での共有分を含 む。 図書(全体) 440,245冊 [166,866冊] 449,255冊 [170,856冊] 448,853冊 [171,865冊] 学術雑誌(全体) 4,992冊 [2,509冊] 4,992冊 [2,528冊] 6,016冊 [2,512冊] 図書・雑誌・視聴覚資料の増減分 は、計画的除籍を開始のため。電子 ジャーナルは有料契約から無料 公開に移行したため。(30) 図書・雑誌・視聴覚資料の増減分 は、新規購入・除籍のため。電子 ジャーナルは契約タイトル数の変 更のため。(29)			
		冊	種	〔うち外国書〕	点	点	点				
		健康科学部	213,760 [80,445] 219,944 [83,466] 221,524 [83,908]	1,576 [975] 1,586 [992] (1,576 [975]) (1,586 [992])	9,700 [8,153] 10,149 [8,150] 10,159 [8,231]	2,923 3,031 3,057	45,798 30,219 30,269		0		
		計	213,760 [80,445] 219,944 [83,466] 221,524 [83,908]	1,576 [975] 1,586 [992] (1,576 [975]) (1,586 [992])	9,700 [8,153] 10,149 [8,150] 10,159 [8,231]	2,923 3,031 3,057	45,798 30,219 30,269		0		
(6) 図 書 館	面 積	7,433.04㎡ 6,965.12㎡	閱 覧 座 席 数	675席 623席 629席	収 納 可 能 冊 数	513,519冊 534,024冊 537,320冊	大学全体 が「イセター」の大幅な改修のため(30)				
	面 積	8,315.58㎡	体育館以外のスポーツ施設の概要		弓道場射場			が「イセター」改修のため(29)			
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	図書館費には電子ジャーナル・データベースの整備費・その他の経費(運用コスト含む)を含む。 経費の見積りについては、既存学部と調整の上、変更した。(29) 図書費においては、その他経費の追加に伴い増額。(29) 経費の見積りについては、既存学部と調整の上、変更した。(30)			
		教員1人当り研究費等	200千円	200千円	図書購入費	6,000千円	47,995千円 47,953千円 6,000千円		47,995千円 47,953千円 6,000千円		
	共同研究費等	5,875千円 5,625千円	5,875千円 5,625千円	設備購入費	75,822千円	3,748千円 8,125千円 75,822千円	3,748千円 8,125千円 75,822千円				
	学生1人当り納付金	第1年次 1,700千円	第2年次 1,700千円	第3年次 1,700千円	第4年次 1,700千円	第5年次 千円	第6年次 千円				
学生納付金以外の維持方法の概要		私立大学等経常費補助金、雑収入等									

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成30年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(30)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
 - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 AC対象学部等を含む大学等の状況

大学の名称	東邦大学							備考	
既設学部等の名称	修業年限	入定員	編入学員	収容員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開設年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍			
医学部 医学科	6	115	-	680	学士 (医学)	1.00	昭和27年度	東京都大田区大森西五丁目21番16号	※平成27年度 医学部医学科入学 定員増(5人)
薬学部 薬学科	6	220	-	1,320	学士 (薬学)	1.14	平成18年度	千葉県船橋市三山二丁目2番1号	
理学部						1.12			
化学科	4	80	-	320	学士 (理学)	1.16	昭和25年度	同上	
生物学科	4	80	-	320	学士 (理学)	1.16	昭和25年度	同上	
生物分子科学科	4	80	-	320	学士 (理学)	1.09	平成元年度	同上	
物理学科	4	70	-	280	学士 (理学)	1.13	昭和58年度	同上	
情報科学科	4	100	-	400	学士 (理学)	1.09	平成元年度	同上	
生命圏 環境科学科	4	60	-	240	学士 (理学)	1.12	平成17年度	同上	
看護学部 看護学科	4	102	-	408	学士 (看護学)	1.10	平成23年度	東京都大田区大森西五丁目21番16号	
健康科学部 看護学科	4	60	-	120	学士 (看護学)	1.19	平成29年度	千葉県船橋市三山二丁目2番1号	
医学研究科 医科学専攻 (修士課程)	2	5	-	10	修士 (医科学)	1.40	平成18年度	東京都大田区大森西五丁目21番16号	※平成28年度 医学専攻博士課程入 学定員増 (12人)
医学専攻 (博士課程)	4	35	-	128	博士 (医学)	1.25	平成22年度	同上	
薬学研究科 薬科学専攻 (修士課程)	2	10	-	20	修士 (薬科学)	0.60	平成22年度	千葉県船橋市三山二丁目2番1号	
医療薬学専攻 (博士課程)	4	5	-	20	博士 (薬学)	1.25	平成24年度	同上	

理学研究科								
化学専攻 (博士前期課程)	2	16	-	32	修士 (理学)	1.71	昭和57年度	同上
化学専攻 (博士後期課程)	3	3	-	9	博士 (理学)	0.22	昭和59年度	同上
生物学専攻 (博士前期課程)	2	15	-	30	修士 (理学)	1.10	昭和57年度	同上
生物学専攻 (博士後期課程)	3	3	-	9	博士 (理学)	0.55	昭和59年度	同上
生物分子科学専攻 (博士前期課程)	2	18	-	36	修士 (理学)	0.44	平成5年度	同上
生物分子科学専攻 (博士後期課程)	3	3	-	9	博士 (理学)	0.00	平成7年度	同上
物理学専攻 (博士前期課程)	2	18	-	36	修士 (理学)	0.74	昭和61年度	同上
物理学専攻 (博士後期課程)	3	3	-	9	博士 (理学)	0.44	昭和63年度	同上
情報科学専攻 (博士前期課程)	2	18	-	36	修士 (理学)	0.55	平成5年度	同上
情報科学専攻 (博士後期課程)	3	3	-	9	博士 (理学)	0.22	平成8年度	同上
環境科学専攻 (博士前期課程)	2	6	-	12	修士 (理学)	1.49	平成21年度	同上
環境科学専攻 (博士後期課程)	3	2	-	6	博士 (理学)	0.33	平成23年度	同上
看護学研究科								
看護学専攻 (博士前期課程)	2	15	-	30	修士 (看護学)	0.49	平成25年度	東京都大田区大森西五丁目21番16号
看護学専攻 (博士後期課程)	3	5	-	15	博士 (看護学)	0.26	平成25年度	同上

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者(学校法人等)が設置している全ての大学(学部, 学科), 大学院(専攻)及び短期大学(学科)(A C対象学部等含む)について, それぞれの学校種ごとに, 平成30年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。
- ・学部の学科または研究科の専攻等, 「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。
 ※「入学定員を定めている組織ごと」には, 課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 ※なお, 課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は, 法令上規定されている組織上の最小単位(大学であれば「学科」, 短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。
 - ・専攻科に係るものについては, 記入する必要はありません。
 - ・A C対象学部等については, 必ず記入するとともに, 下線を引いてください。
 - ・「平均入学定員超過率」には, 標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで(小数点以下第3位を切り捨て)を記入してください。
 - ・学生募集を停止している学部等がある場合, 入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「-」とし, 「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

(1) ②担当教員表に関する変更内容

【平成29年度】

該当なし

【平成30年度】

該当なし

【平成31年度】

【平成32年度】

- (注) ・ 変更内容を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 - ・ 「専任教員採用等変更書（AC）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
 - ・ 不要な年度（平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度）の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要専 任教員数	うち、完成年度時に おける設置基準上の 必要教授数
12 名	6 名

(注) ・ 大学設置基準第十三条別表第一、短期大学設置基準第二十二條別表第一イにより算出される専任教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員数

設置時の計画					現在（報告書提出時）の状況					現在（報告書提出時）の完成年度時の計画				
教授	准教授	講師	助教	計 (A)	教授	准教授	講師	助教	計 (B)	教授	准教授	講師	助教	計 (C)
8	4	5	7	24	9	4	4	3	20	9	4	5	7	25
(7)	(2)	(2)	(1)	(11)						[1]	[0]	[0]	[0]	[0]

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、()内に開設時の状況を記入してください。
 ・ 「現在（報告書提出時）の状況」には、報告書提出年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・ 「現在（報告書提出時）の完成年度時の計画」には、「現在（報告書提出時）の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入するとともに、[]内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢（歳）	報告書提出時（上 記（B））の教員 のうち、定年を延 長して採用してい る教員数	完成年度時（上記 （C））の教員う ち、定年を延長し て採用する教員数
65（教授）	2	2
60（准教授、講 師、助教）	0	0
歳	名	名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）および、平成30年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2) - ④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告書提出時）の完成年度時の計画(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{25}{24} = \boxed{104.16} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑤ 現在（報告書提出時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告書提出時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告書提出時）の状況(B)}} = \frac{2}{20} = \boxed{10} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) -① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由			
合計 (D)					後任補充状況の集計 (E)				
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)
0	人	必修	科目	必修	科目	必修	科目	必修	科目
		選択	科目	選択	科目	選択	科目	選択	科目
		自由	科目	自由	科目	自由	科目	自由	科目
		計	科目	計	科目	計	科目	計	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
 ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) -②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) -② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由			
合計 (F)					後任補充状況の集計 (G)				
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)
0	人	必修	科目	必修	科目	必修	科目	必修	科目
		選択	科目	選択	科目	選択	科目	選択	科目
		自由	科目	自由	科目	自由	科目	自由	科目
		計	科目	計	科目	計	科目	計	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、**定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員について**に記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) -③ 上記 (3) -① ・ (3) -② の合計

合計 (D) + (F)					後任補充状況の集計 (E) + (G)				
辞任等した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)
0	人	必修	科目	必修	科目	必修	科目	必修	科目
		選択	科目	選択	科目	選択	科目	選択	科目
		自由	科目	自由	科目	自由	科目	自由	科目
		計	科目	計	科目	計	科目	計	科目

(3) -④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計 (D) + (F)}}{(2) - ② \text{設置時の計画 (A)}} = \frac{0}{0} = \boxed{0} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) -⑤ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由
合計				後任補充状況の集計		
辞任した教員数	担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)
0 人	必修	科目	必修	科目	必修	科目
	選択	科目	選択	科目	選択	科目
	自由	科目	自由	科目	自由	科目
	計	科目	計	科目	計	科目

- (注) ・ **定年により退職した全ての専任教員**について記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および()書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」 ・ 兼任兼任教員が担当する(している)場合は「②」 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」 |
|---|

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

6 留意事項等に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項 等	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設 置 時 (28年6月)	該当なし		
設置計画履行状況 調 査 時 (30年2月)	・健康科学部看護学科 の入学定員超過の改善 に努めること。 改善意見	入学定員の大幅に超過した 反省を踏まえ、入試の合格 者の繰り上げ方法等を学部 として見直し、入学超過率 は1.08倍に低下した。 履行済	

- (注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時（認可時又は届出時）に付された留意事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を（ ）書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、**当該大学に付された意見を全て記入**するとともに、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
 - ・ 「履行状況」では、履行途中であれば「未履行」、履行済みであれば「履行済」を選択してください。
 - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査時」の（年月）には、調査結果を公表した月（通常2月）を記入してください。（実地調査や面接調査を実施した日ではありません。）

7 その他全般的事項

<健康科学部 看護学科>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
該当なし	

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

① 実施体制

a 委員会の設置状況

平成29年4月1日より、「東邦大学健康科学部FD委員会」を設置した（添付資料：「東邦大学健康科学部FD委員会規程」）。

b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

原則として毎月第4水曜日に開催する。出席者は委員3名および担当事務職員（教務事務担当）。

c 委員会の審議事項等

教育ワークショップ等の企画・立案および実施

② 実施状況

a 実施内容

・平成29年度第1回教育ワークショップ（平成29年9月21日（木）開催）

テーマ：健康科学部での教育とはじめー健康科学部の初年度における教育の連携・協働のあり方ー

①講演「新学部における学部運営の課題と対応～学部立ち上げから1期生卒業までの体験をもとに～」

演者：稲富恵子先生（順天堂大学保健看護学部 名誉・特任教授）

②グループディスカッション「健康科学部における3つの看護領域の連携・協働のあり方」

・平成29年度第2回教育ワークショップ（FD委員会と教務委員会との共催）平成29年12月7日（木）開催

テーマ：臨地実習指導をするうえで大切にしたいこと

対象者：本学部教職員、臨地実習指導者

内 容：大学から学部の教育および臨地実習に関する講演の後、

グループディスカッション「臨地実習指導をするうえで大切にしたいこと」

・FD特別企画「看護学教育モデル・コア・カリキュラムについて」平成29年8月4日（金）

講演「看護学教育モデル・コア・カリキュラムについて」

演者：東邦大学看護学部准教授 小山田 恭子 先生

（看護学教育モデル・コア・カリキュラム策定ワーキンググループの委員）

・FD特別企画「学部の魅力促進活動の一步シリーズ①～④」

①自己点検・評価について 平成29年9月20日（水）開催

講演「東邦大学および健康科学部の自己点検・評価について」

演者：東邦大学学事統括部自己点検・評価企画運営委員会事務局

②健康科学部設立の経緯・学部の特色について 平成29年9月20日（水）開催

③大学の組織と学部の関係について 平成29年10月18日（水）開催

④暮らしを重視する看護教育の教育方法について 平成29年11月29日（水）開催

②～④の演者は、学部内教員

b 実施方法

上記 a 参照

c 開催状況（教員の参加状況含む）

・平成29年度第1回教育ワークショップ：健康科学部教員（平成30年度以降の着任予定者含む）および教務事務計23名。

・平成29年度第2回教育ワークショップ：、臨地実習指導者（21施設44名）、健康科学部教員12名

・FD特別企画「看護学教育モデル・コア・カリキュラムについて」教員12名 教務事務3名

・FD特別企画「学部の魅力促進活動の一步シリーズ①～④」 ①教員11名 教務事務2名、

②教員11名 事務:教務・入試広報5名、③教員11名 教務事務3名、④教員12名 事務:教務・入試広報3名

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

ワークショップおよびFD特別企画「学部の魅力促進活動の一步シリーズ①～④」の内容は報告書としてまとめ、教員相互の情報共有を図っている。また、各教員および委員会の教育活動、実習施設との調整に活用している。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

教務委員会を中心に、「評価に基づく授業の改善」を目的とし、授業評価アンケートを実施している。アンケートの対象は全授業科目とし、教務システム（ActiveAcademy）を用い、Web上で実施している。

実施時期は、講義・演習および実習の最終日から3日以内（終了日を含めて4日間）に回答するようになっている。

b 教員や学生への公開状況、方法等

アンケートの結果は教務システム上で公開し、学生、教員とも結果を閲覧できる。公開の時期は定期試験終了後2週間としている。

なお、兼任・兼任講師などで教務システムを利用できない教員に対しては、紙ベースで結果を知らせるなど、周知徹底を図っている。

(注) ・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

健康科学部看護学科は、本学の建学の精神である「自然・生命・人間」に基づき、千葉県の看護師需給事情の解消に努めるとともに、時代に即した「地域完結型医療」を目指した看護教育の実践により、豊かな人間性を有した人材を育成することを目的に設置した。平成28年4月27日付の「東邦大学健康科学部看護学科設置届出に係る提出書類」に付した「設置の趣旨等を記載した書類」の項目ごとの達成状況、届出時と平成30年5月1日現在との変更状況等について記述する。

1. 設置の趣旨及び必要性

届出時と現時点で変更はなく計画どおりに履行している。

2. 学部・学科等の特色

届出時と現時点で変更はなく計画どおりに履行している。アドミッション、カリキュラム、ディプロマの3ポリシーはホームページ(<https://www.toho-u.ac.jp/health/index.html>)に掲載し、周知を図っている。

3. 学部・学科等の名称及び学位の名称

届出時と現時点で変更はなく計画どおりに履行している。

4. 教育課程の編成の考え及び特色

平成29年度春学期(前期)から平成30年度春学期(前期)開講科目については、未開講の科目はなく、予定していた科目のすべてを開講することができた。平成30年度秋学期(後期)開講科目についても、平成30年5月1日現在、教員の辞退等の事由により未開講の予定となっている科目はなく、順調に履行している。また、教育課程の編成を審議する委員会組織として、「健康科学部教務委員会」を設置した。構成員は、

- (1) 学部長により指名された委員長 1名
 - (2) 健康科学部専任教員のうち、学部長と委員長との協議により選出された者 5名
 - (3) 習志野学事部長のうち、学部長、委員長、習志野学事部長との協議により選出された者 1名
- とし、原則として月1回(第2水曜日)に開催することが決定している。

なお、「東邦大学健康科学部教務委員会規程」を平成29年4月1日より施行した。

5. 教員組織の編成の考え及び特色

専任教員については、平成29年度の設置計画履行状況報告以来、変更点は生じていない。なお、平成30年度より、健康科学部に「助手」の職階を設けた。助手の任務は、学部長管理の下、教育を補助するものとする。ただし、助手は教育職員としない。主に臨地実習の補助などを担当する予定となっている。特に大幅な入学者数の超過があった平成29年度入学者の2年次への進級に伴い、2年次開講の臨地実習などを中心に補助を行う予定となっている。

6. 教育方法、履修指導方法及び卒業要件

大幅な入学者数の超過があった平成29年度入学者の2年次への進級に伴い、2年次開講の臨地実習施設の増加に係る指定変更承認申請を行い、承認をいただいた。ただし、平成29年度の設置計画履行状況報告以来、教育方法に変更は生じていない。なお、履修指導方法および卒業要件についても届出時と変更はない。

7. 施設、設備等の整備計画

当初計画していた備品等の購入は、計画どおり順調に履行している。

8. 入学者選抜の概要

アドミッション・ポリシーに基づき、当初計画していた入試をすべて実施し、順調に計画を履行した。特に入学者数管理が大きな課題であったが、教職員で検討を行い、繰上げ合格の方法を見直すなどの対策を講じ、最終的な入学者は65名、定員超過は1.08倍となった。引き続き入学者数管理の徹底を行っていく。

9. 取得可能な資格

届出時と現時点で変更はなく計画どおりに履行している。

10. 実習の具体的計画

大幅な入学者数の超過があった平成29年度入学者の2年次への進級に伴い、2年次開講の「老年看護学実習Ⅰ(2単位・後期開講・必修)」について1施設、「老年看護学実習Ⅲ(1単位・後期開講・必修)」について1施設の実習施設の増加に係る指定変更承認申請を行った。平成30・31年度開講の実習科目について実習施設との調整を計画している。

11. 管理運営

当初の計画どおりに履行している。

教授会は平成30年5月1日現在、専任の教授7名により構成され、原則として毎月第1水曜日に実施する。

教員会は教授会終了後に開催され、准教授、講師および助教の健康科学部専任教員がすべて参加し、学部長による教授会報告の他、各種連絡事項の報告、懸案事項の検討等を行い、健康科学部を構成する全教員が情報を共有し、学生教育および学部運営の円滑な実施を目指している。

また、当初計画していた教務委員会、入試委員会、学生委員会、自己点検・評価委員会、FD委員会の他、予算委員会、生命倫理委員会、健康科学部国際交流センターを設置した。なお、これらの委員会、センターにはすべて規程・内規を制定し、適切な運営を行っている。

12. 自己点検・評価

本学の他学部と同様、健康科学部においても「東邦大学健康科学部自己点検・評価委員会規程」を平成29年4月1日より施行し、委員会が発足した。構成員は、

- (1) 学部長により指名された委員長 1名
- (2) 健康科学部専任教員のうち、学部長と委員長との協議により選出された者 若干名

とし、平成29年度は委員長の他、委員1名を選出し、健康科学部の自己点検・評価の実施、自己点検・評価報告書の作成を担う。

○学部の内部質保証の取組み

・各委員会および教員組織の各領域の活動の振り返り：

委員会の任務や学部の組織目標に照らして平成29年度に関する年間の活動の総括を実施した。

その結果および平成30年度学部組織目標を踏まえて平成30年度の活動計画を立案している。

・平成29年度の年報について：編集実務は「年報編集担当会」を中心に作成中である。発刊予定月：平成30年6月末「年報編集担当会」

構成員：副学部長(責任者)、自己点検・評価委員長、准教授2名、講師2名

13. 情報の公表

○大学の教育研究上の目的に関すること

トップページ>健康科学部>学部のご紹介>学部の特色・目的
(<https://www.toho-u.ac.jp/health/course/feature.html>)

○入学者に関する受入れ方針

トップページ>健康科学部>入試について>入試情報/アドミッション・ポリシー
(https://www.toho-u.ac.jp/health/info_exam/sum.html)

○卒業又は修了した者の数、進学者数及び就職者数、就職等の状況に関すること

* 開設2年目のため未開設

○授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること

* 現在、シラバスの掲載を準備作業中

- 学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること
 トップページ>健康科学部>教育内容>カリキュラム>カリキュラムについて
 (https://www.toho-u.ac.jp/health/edu/curriculum/about_curriculum.html)
- 教育上の目的に応じ学生が修得すべき知識及び能力に関する情報
 トップページ>健康科学部>学部のご紹介>学部の特色・目的
 (https://www.toho-u.ac.jp/health/course/feature.html)
- 取得できる主な資格・学位
 トップページ>健康科学部>進路・就職について>主な資格と学位
 (https://www.toho-u.ac.jp/health/career/main_way.html)
- ディプロマ・ポリシー
 トップページ>健康科学部>学部のご紹介>ディプロマ・ポリシー
 (https://www.toho-u.ac.jp/health/course/diploma_policy.html)

14. 教育内容等の改善を図るための組織的な研修等

当初の計画どおりに履行している。詳細については、上記「(2) 教員の資質の維持向上の方策 (FD活動含む)」に記載。

15. 社会的・職業的自立に関する指導等及び体制

当初の計画どおりに履行している。

特に教育課程外の取組については、学生の生活支援および学生の進路・就職支援を目的に、健康科学部学生委員会を設置した。委員会の規程として「東邦大学健康科学部学生委員会規程」を制定し、平成29年4月1日より施行した。委員会の構成員は、

- (1) 学部長により指名された委員長 1名
 - (2) 健康科学部専任教員のうち、学部長と委員長との協議により選出された者 4名
- である。本学習志野地区学生部およびキャリアセンターと連携し、上記目的の達成に努める。

実施内容

- ・平成29・30年度1年生を対象に、春学期ガイダンスにて、習志野キャリア支援センターおよび看護企画室を紹介
 - ・キャリア形成支援ガイダンス：2年生を対象に、看護職に関する講演を平成30年6月26日開催予定
- 今回の演者は、専門分野の異なる教員

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

- ・2013（平成25）年3月 公表

b 公表方法

- ・大学ホームページ上に公開 (https://www.toho-u.ac.jp/univ/hojin_info/juaa.html)

③ 認証評価を受ける計画

- ・2012（平成24）年度に公益財団法人大学基準協会の大学評価（認証評価）を受審し、大学基準に適合しているとの認定を受けている。（認定の期間は2020（平成32）年3月31日まで）
- ・2018（平成30）年度に全学自己点検・評価報告書を作成し、2019（平成31）年度に公益財団法人大学基準協会の大学評価（認証評価）を受審予定である。

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(4) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表（予定）の有無

(有 ・ 無)

b 公表（予定）有の場合の公表（予定）時期

(平成 30 年 7 月 31 日)

(注) ・ 「a ホームページに公表（予定）有無」には、5月1日時点で公表している場合、もしくは、今後公表する予定の場合は、「有」にマルを記入してください。今後も公表する予定がない場合は、「無」にマルを記入してください。

・ 「b 公表（予定）有の場合の公表（予定）時期」には、「a ホームページに公表（予定）有無」で「有」にマルを記入した場合のみ、時期を記入してください。

東邦大学健康科学部FD委員会規程

(設置)

第1条 東邦大学健康科学部FD委員会(以下「委員会」という。)は、東邦大学健康科学部教授会規程第10条に定めるところにより設置する。

(目的)

第2条 委員会は、健康科学部教員の教育研究能力および資質の向上を図ることを目的とする。

(構成)

第3条 委員会の構成員(以下「委員」という。)は、次の各号によるものとする。

(1) 学部長により指名された委員長 1名

(2) 健康科学部専任教員のうち、学部長と委員長との協議により選出された者 2名

2 前項の規定にかかわらず、委員会が必要と認めるときは、他の教職員の出席を求めその意見を聞くことができる。

(任期)

第4条 委員長ならびに委員の任期は1年とする。ただし再任は妨げない。

2 委員に欠員が生じたときは、これを補充し、その任期は前任者の残任期間とする。

(会議)

第5条 委員長は、委員会を招集し、その議長となる。

2 委員長に事故があるときは、委員長が指名した委員が議長となる。

(会議の成立)

第6条 委員会は、委員の3分の2以上が出席したとき成立するものとする。

2 委員会の決定は出席委員の過半数の賛成をもって行う。

(任務)

第7条 委員会は、次の事項について審議し、その内容に応じ教授会に議事として提出または報告を行うものとする。

(1) 教育ワークショップ等の企画・立案および実施

(2) 学部長が諮問した事項および健康科学部教授会が付託した事項

(議事録)

第8条 委員会は議事録を作成し、保存する。

(委員会の事務)

第9条 委員会の事務は、習志野学事部学事課健康科学部教務担当がこれにあたる。

(規程の改廃)

第10条 この規程の改廃は、教授会において審議のうえ、学部長が教授会意見を参酌し、慎重に決定する。

附 則

この規程は、平成29年4月1日より施行する。